

大阪・関西万博がいよいよ開幕

今年の春は4月初めに見られた厳しい寒さの影響でチューリップや桜の開花が遅れましたが、この寒の戻りで今年は見頃の期間が例年よりも少し長くなりました。市内各所の花見スポットは多くの人でにぎわっており、私も春の花を堪能させていただきました。これから新緑まぶしい季節がやってきます。この時期は自然や緑を満喫できるイベントが盛りだくさん。「植木のまち」としてのPRも兼ねて、多くの人に訪れていただきたいと思います。

この原稿を執筆中の4月13日、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに158の国と地域が参加する大阪・関西万博が開幕しました。10月13日までの184日間、大阪湾に浮かぶ人工島「夢洲」が会場となり、国内外のパビリオンで社会課題の解決に向けた次世代技術の展示や、各国の伝統文化が体験できる企画などが半年間にわたって予定されています。

そもそも万博を開催する目的はなんなのでしょうか。そしていつから始まったのでしょうか。万博は「万国博覧会」の略称のことであり、さらに言えば「国際博覧会」というのが正しい名称のようです。万博については国際博覧会条約に定義されており、各国が研究する最先端かつ近い未来に実用可能となる科学技術などをさまざまな人に見てもらうための催し物ということになります。

そして万博の起源は諸説あり、紀元前の古代エジプトまでさかのぼる説があります。国王の即位祝典の行事とし



て芸術品などを住民に披露したことが記録されており、これを原始的な形の博覧会だとすると、博覧会はオリンピックより古い歴史を持つことになるかも知れません。なお、現在につながる万博の始まりは1851年の「ロンドン万国博覧会」であり、日本が初めて参加したのは1867年の「パリ万博」となります。そして日本が初めて自国開催した万博は高度経済成長期の象徴として、多くの人々に夢と希望を与えた1970年の「大阪万博」となります。もっとも私はまだ生まれていませんでしたが、2度目となる大阪万博。私たちにいったいどんな未来を見せてくれるのでしょうか？

万博の会期中、参加する国や地域、国際機関には、1日ずつ「ナショナルデー」が割り当てられており、伝統や文化を紹介しながら来場者などと交流する催しが予定されています。経済や紛争により世界の分断が進む中、国際交流の場としての役割を果たすことができるのか、そのような面からも意義のある万博となることを願うものでもあります。

ぜひ機会がございましたら、飽くなき探求心の成果を見届けに出かけてみませんか？

市長 宮内康幸

匝瑳探訪 信仰の足跡

久方を歩く

キリスト教諸派の一つ「ロシア正教会（日本ハリストス正教会）が千葉県下で布教を始めたのは1870年代後半、宣教師ニコライによるとされます。

1893（明治26）年、県下16の布教拠点に「福岡（当時の八日市場の町名）」と「須賀（蕪里）」が上げられ、須賀正教会は1890（同23）年仮会堂が建てられています。

ニコライは全国での布教の様子を日記に残し、1892（同25）年の「下総巡回日記」には10月9、10日に蕪里を訪れたことが詳しく書かれています。

当時、蕪里では伝教司フイリップ鵜沢が「神学舎」の看板を掲げた学校を開いていて、ニコライの来訪を知ったソクラト平山が久方（豊栄村）から蕪里に向いて来たとあります。

市域には先の福岡、蕪里のほか久方と平木にも1898（同31）年にかけて教会が設立され、豊栄正教会には27人の信徒がいました。この教会の創始者は神田駿河台（東京都）の伝道学校で学んだ金杉泰助で、自宅に正教会を設立し、1897（同30）年、聖画「昇天図」（市指定文化財）が贈られました。

1899（同32）年に須賀正教会の聖堂が完成し、ニコライ大主教から山下りんの描いた10面の聖画（県指定有形文化財）が贈られ、現在も祭壇を飾っています。この聖画について「まだ鉄道が横芝までしか開通していませんので」との記載が見られるものもありますが、これは誤りで当時の総武鉄道（現在のJR総武本線）は明治30年6月に銚子駅まで開通していました。横芝駅から蕪里まで聖画が運ばれたのは、距離が理由のようです。

明治中ごろ、市域にあったとされる4教会のうち、現存するのは須賀ハリストス正教会だけで、八日市場、平木の教会はまったく知ることができません。蕪里と豊栄正教会のあった久方の墓地に残された墓石に刻まれた「洗礼名」のみが信仰の足跡を伝えています。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）
副秘書課広報聴班 ☎73・0080



墓石に刻まれた十字架（豊栄地区久方・延命寺境内）

短歌

依知川 雅一 推薦

父母逝きてばっかりあいた穴二つ

猫と犬とが毎日通る

鈴木 志子

愛らしきピンク色なすきくら草

アゲハ蝶止まり花の蜜吸う

鈴木 知子

つくしんぼ夢中に摘んだ幼き日

みんなと暮らす庭にもありき

桑原 宏子

地にうつる我が影見つち散歩する

老いの姿に目をそむけつつ

大木ヨシ子

ちよつと前おむつ換えてた孫娘

桜咲くころもう中学生

伊橋 勝利

兩岸の桜花^{おうが}咲き散り花びらを

春を惜しむか水面に浮かぶ

大木 洋一

毎週の百歳体操なごやかに

気ごころ緩む鉛は妙薬

高橋百合子

石田 健治 推薦

体力を試すに挑戦九十九段

犬吠埼の灯台に上る

伊橋 良子

ぼかぼかと急に春めき花達も

咲いていいのかとまどいながら

伊橋 裕子

俳句

椿 和枝 推薦

ジョンレノン好きな店主やミモザ咲く

役降りて深き吐息や木瓜^{ぼけ}の花

摺上^{かわた}の川音に春の匂ひ立つ

京の花吉野の花を眼裏に

春爛漫天神山はうす紅に

たちまちに春田となりて空蒼し

穏かに九十回の年始め

石田 健治 推薦

啓蟄や我が家の庭はもぐら穴

春雨や二人を濡らす音もなく

川柳

勝又 康之 推薦

遠足の写真の友は今八十路

スズメの子世間を学ぶ春の旅

遠足の思い出語り友徳ぶ

遠足で背負ったリュック弾んでる

遠足だリュックと添い寝明日を待つ

桜咲き天神山へ遠足に

興奮で睡眠不足遠足日

石田 健治 推薦

ポックリと死んではならぬ最後だよ

人生の壁を乗り越え今がある

須貝 玉泉

石橋 春歩

鈴木トシ子

鶴野千恵子

林 長三郎

鵜澤 澄子

岡田けい子

土屋 秀雄

江波戸京子

野仲 妙子

熱田 和

岩井 やす

鈴木 志子

光瀬甲江子

椎名 晴江

那須 恒雄

佐々木之子

佐々木之子

佐々木之子

佐々木之子

佐々木之子

佐々木之子

地域おこし協力隊通信

第2回



今月の担当は鈴木優介隊員／1999年生まれ。匝瑳市出身。企業のメディア事業部でSNS運用業務などを経験。独立後、フリーランスとして動画制作業務などに従事。匝瑳市を盛り上げるため、さまざまなイベント情報を発信中。



匝瑳市を守るヒーロー、知ってる？

市内イベントなどでたびたび見かける匝瑳市のローカルヒーロー「ハリキリ戦隊ソーサマン」をご存知でしょうか？匝瑳市の「平和を守るソーサレッド」、「環境を守るソーサブルー」、「健康を守るソーサイエロー」3人そろって一人前の彼らは2007年のよかっぺ祭りでのステージショーを皮切りに匝瑳市を盛り上げるため、日々活動を行っています。

当時8歳だった私。地元生まれの

ヒーローを初めて見た時の衝撃は今でも忘れることができません。あれから17年。彼らは長年の活動が認められて市のシティ・アンバサダーに就任しています。今も市内外で行われるイベントに出演した際にはあの頃と変わらず、根強い人気を誇っています。「子どもたちにヒーローを」そんな思いから始まったソーサマンのイベントが、5月5日11時15分から匝瑳の里で開催されます。ぜひ遊びに来てください。



チューリップ祭りに登場したソーサマン